

2022年12月1日
白山ユネスコエコパーク協議会
公益財団法人イオン環境財団

「白山ユネスコエコパークフェア」を開催

12月3日（土）・4日（日）イオンモール白山にて

公益財団法人イオン環境財団（理事長 岡田元也 イオン株式会社 取締役 代表執行役会長 以下当財団）は、白山ユネスコエコパーク協議会（協議会長 山田 憲昭 白山市長）と12月3日（土）、4日（日）にイオンモール白山にて「白山ユネスコエコパークフェア」を開催します。

当財団は、“生態系の保全”と“持続可能な利活用”の調和を目指すユネスコエコパークの理念に賛同し、2017年に、日本各地のユネスコエコパークが組織する日本ユネスコエコパークネットワーク（会長 渡部勇夫 福島県南会津郡只見町長）と、連携協定を締結しました。両者は締結を機に、植樹をはじめとした環境教育や各種催事などを協力して取り組んでまいりました。

今回は、イオンモール白山において、ポスターやパネルで両者の取り組みを紹介するほか、環境省による白山国立公園の紹介や、白山ユネスコエコパークの豊かな自然と、人々との関わりをわかりやすくお伝えするために、同パーク内の自然資源を利用したクラフト体験、特産品の販売などを実施します。

今後も両者は、人と自然が共生する豊かな地球環境を次世代に引き継ぐため、連携して様々な活動に取り組んでまいります。

■白山ユネスコエコパークフェア

日 時：2022年12月3日（土） 10：00～17：00
4日（日） 10：00～16：00

場 所：イオンモール白山（石川県白山市横江町土地区画整理事業施行地区内1街区）
1階 西コート

主 催：公益財団法人イオン環境財団
共 催：白山ユネスコエコパーク協議会
内 容：セレモニー、トークショー
ワークショップ（ネイチャークラフト体験）
パネル・ポスター展示
白山市、勝山市の特産品の販売 他

【過去のユネスコエコパークフェアの様子】



パネル・ポスター展示



伝統芸能の紹介



自然資源の利活用



特産品の販売

【公益財団法人イオン環境財団】

「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」というイオンの基本理念のもと、岡田卓也（イオン株式会社名誉会長相談役）により、日本で初めて地球環境をテーマにした企業単独の財団法人として、1990年に設立されました。以来、多様なステークホルダーの皆さまとともに「植樹」「環境活動助成」「環境教育」「パートナーシップ」の4つの事業を中心に活動に取り組んでいます。現在は、持続可能な地域の実現を目的に、新たな里山づくりにも取り組んでいます。

【植樹活動】

国内外の地域行政と協力し、自然災害や伐採などで荒廃した森の再生を目的に、アジアを中心に世界各地のボランティアの皆さまとともに植樹活動を継続実施してまいりました。

1991年からのイオン全体の植樹の累計本数は、1,241万本（2022年2月末時点）をこえています。

本年、当財団は、北海道南富良野町、宮城県石巻市、石川県金沢市、千葉県習志野市・君津市、山武市、滋賀県甲賀市、宮崎県綾町で植樹を行いました。また、海外では、香港、インドネシア、ジャカルタで植樹を実施しています。

【ユネスコエコパーク】

生物圏保存地域（BR：Biosphere Reserves）は“生態系の保全”と“持続可能な利活用”の調和を目的として、1976年にユネスコが開始しました。国内ではBRを「ユネスコエコパーク」と呼ぶことが、2010年1月の日本ユネスコ国内委員会です正式に決定されています。認定地域数は、134カ国738地域、うち国内は10地域となっています。（2022年6月時点）

ユネスコエコパークには「生物多様性の保全」「学術的研究支援」「経済と社会の発展」の3つの機能があり、その機能を果たすために、以下の3つの地域が設定されています。

核心地域：厳格に保護され、長期的に保全される地域。

緩衝地域：核心地域保護のための償還的地域。教育や研修、エコツーリズム等に利用される。

移行地域：人が生活し、自然と調和した持続可能な発展を実現する地域。

【白山ユネスコエコパーク】

白山ユネスコエコパークは、北緯約36度・東経約137度、日本列島の概ね中央に位置しています。白山ユネスコエコパークの中心には、標高2,702mの霊峰白山が位置します。白山の特徴と言えば、高山植物、豪雪、ブナ林、山村、白山信仰等が挙げられます。日本の高山帯分布の最西端に位置し、世界で最も赤道に近い豪雪地帯の1つです。

国立公園指定： 1962年（昭和37年）

登 録： 1980年（昭和55年）

拡張登録： 2016年（平成28年）

構成自治体： 富山県/南砺市、石川県/白山市

福井県/大野市・勝山市

岐阜県/高山市・郡上市・白川村

<ホームページ[白山ユネスコエコパーク | 世界に誇る白山。人と自然が紡ぐ地域の未来へ \(hakusan-br.jp\)](http://hakusan-br.jp)>



白山山頂

【イオン環境財団と日本ジオパークネットワークの取り組み】

当財団は、2022年10月、日本にある46の「日本ジオパーク」を会員とする、特定非営利活動法人日本ジオパークネットワーク（理事長 古川 隆三郎 島原市長）と、日本ジオパークネットワーク副理事長の山田 憲昭 白山市長出席のもと、包括連携協定を締結しました。同協定は、ジオパークの自然資本である地質遺産の価値や、地質・地形と生き物・歴史・産業・文化・くらしとのつながりを、一般市民への認知度向上や環境教育を通じて保全を図るとともに、ジオパークの所在する地域への域内・域外からの人の流れを増加させ、地域の発展を目指しています。